

実務訓練生の受入実施報告

大学生と共に学び更なる相乗効果のために実施

～再生エネルギー部の社員から実務訓練生へ～

株式会社富士クリーン(所在地：香川県綾川町 代表取締役：馬場 太一郎)は、応用化学・生命工学課程の4年生へ採用目的ではなく、学生教育の一環として、2022年1月初旬～2月下旬まで、メタン発酵に係わる分析業務などの実務訓練を実施しました。

■実務訓練生受入による相乗効果

新しい乾式メタン発酵施設を管理運営していく中で、社員ひとりひとりの考えや想いがあります。そのような中で、新たな知識を持つ大学生と共に働くことで、社員の考えや取得してきた技能などを磨くことができました、新鮮な気持ちで日常の業務と向き合うことにより、ひとりひとりのスキル向上が図れると考えています。そして、普段の生活では見ることができない廃棄物処理の現場、そこで行われている業務を体験することで、大学生にとっても社会人としての考え方や意識、将来の夢、気づきが大学生の未来へ繋がっていくと考えています。

■実務訓練生の業務内容（一部）

主に、乾式メタン発酵施設を管理する上で必要な分析業務を中心に実施しました。研究室ではあたり前かもしれませんが、灰分から有機酸などの測定を実施し、得られた結果がどのように管理されているのかをともに体験してもらいました。また、廃棄物処理業は、乾式メタン発酵施設のみではないので、収集運搬業務も手伝ってもらい、廃棄物の発生から処理までを経験してもらいました。

■実務訓練生からの感想（一部）

分析業務を通じて分析の手法を身に着けることができました。研究室では用いていない手法で行う項目が大半でしたが、毎日繰り返し行うことでメモを見なくても分析が行えるようになりました。また、分析の原理や目的についても学ぶことができ、分析の重要性やメタン発酵における重要な値についても知ることができました。今までは分析に苦手意識があり、先延ばしにしがちでしたが、これからは積極的に分析を行います。



社員との交流風景



分析作業風景



社長とのツ～ショット

本件に関するお問合先：

株式会社富士クリーン 企画開発部 (087-878-3111) n-ogawa@fujicl.com.